

2026 年 8 月 31 日

りそなアセットマネジメント株式会社

組織改編に関するお知らせ

りそなアセットマネジメント(代表取締役社長 西山 明宏、以下「当社」)は、2026 年 9 月 1 日付で組織改編を実施いたしましたので、お知らせいたします。

1. 組織改編の背景

近年、資産運用会社には、お客さまの最善の利益の実現に向けて、商品組成から運用、モニタリング、情報提供に至るまで、プロダクトガバナンスを含む管理体制の一層の高度化が求められています。また、お客さまのニーズの多様化・高度化が進む中、質の高い運用サービスを継続的に提供していくためには、運用体制の強化に加え、デジタル技術の活用を通じた業務プロセスの効率化・高度化や頑健な事業運営基盤の構築が重要となっています。こうした環境変化を踏まえ、当社では、お客さま本位の業務運営をより一層推進するため、このたび組織改編を実施いたしました。

2. 主な改編内容

① PGRC 推進部の新設

プロダクトガバナンス、リスク管理およびコンプライアンス機能を集約し、新たに「PGRC 推進部」を設置いたしました(PGRC:Product Governance, Risk & Compliance)。これにより、商品ガバナンスおよびリスク・コンプライアンス管理の実効性向上に向けた施策を一体的かつ機動的に推進することで、管理体制の高度化と意思決定の迅速化を図ってまいります。

② 運用プラットフォーム部の新設

データ管理、運用システム管理、トレーディング、投資信託計理等の基盤業務を集約し、「運用プラットフォーム部」を設置いたしました。運用業務を支える共通基盤を一体的に整備し、業務の標準化・デジタル化およびデータ利活用の高度化を推進することで、運用業務の効率化、生産性向上ならびに運営基盤の強化を図ってまいります。

③ 顧客サービス機能の強化

投資信託の開示およびレポーティング業務を、クライアントサービス部および機関投資家営業部へ移管いたしました。顧客接点を有する部署が開示・レポーティング機能を一体的に担うことで、投資家への情報提供の充実を図るとともに、ファンド組成の迅速化およびサービス提供力の向上を推進してまいります。



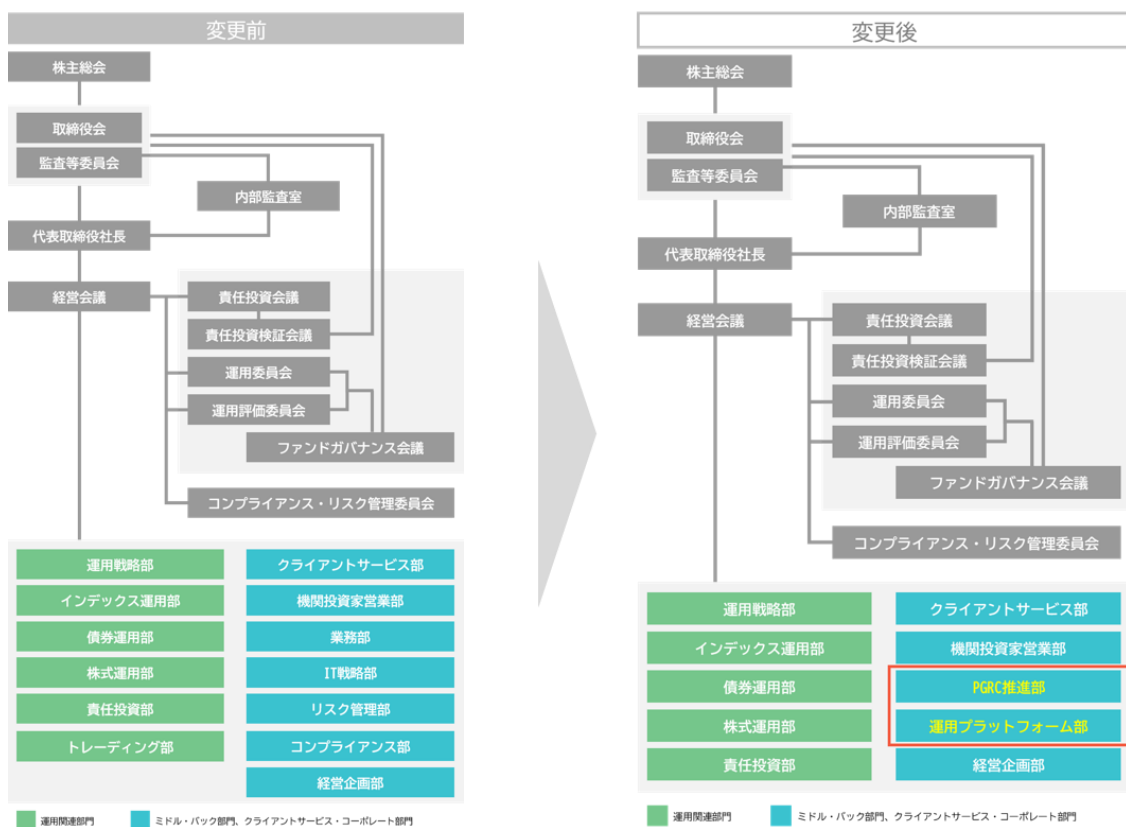
④ DX 推進体制の強化

DX 推進および全社 IT インフラの企画・推進機能を経営企画部へ移管し、全社横断的な業務改革を推進する体制を整備いたしました。生成 AI をはじめとする先端技術やデータ活用的高度化を推進し、業務プロセスの効率化と高度化を通じて、より付加価値の高いサービスの提供を目指してまいります。

⑤ 商品企画・開発力の強化

クオンツ運用機能をプロダクト・商品企画を担う運用戦略部へ移管することで、定量分析や市場分析の知見を商品企画・開発に一体的に活用する体制を構築いたしました。これにより、お客さまニーズや市場環境の変化への対応力を高め、商品企画・開発力の向上を図ってまいります。

3. 新旧組織図



4. 役員の担当業務の変更について

新	旧	氏名
専務執行役員 ・債券運用部長 ・株式運用部担当 ・運用戦略部担当 ・機関投資家営業部	専務執行役員 ・債券運用部長 ・株式運用部担当 ・運用戦略部担当 ・トレーディング部担当 ・機関投資家営業部	山下 恵史
執行役員 ・PGRC 推進部担当 ・運用プラットフォーム部担当	執行役員 ・リスク管理部担当 ・コンプライアンス部担当 ・業務部担当 ・IT 戦略部担当	山本 創

5. 部長人事について

新職	現職	氏名
運用プラットフォーム部長	コンプライアンス部長	福士 信太郎
PGRC 推進部長	リスク管理部長	加藤 貴史

6. 今後について

当社は、今回の組織改編を通じて、プロダクトガバナンスのさらなる実効性向上に加え、業務プロセスの見直しやデジタル技術の活用による生産性向上を推進してまいります。また、運用・企画・営業・管理部門の連携を一層強化することで、お客さまのニーズに迅速かつ的確に対応できる体制を構築し、より付加価値の高い商品・サービスの提供に努め、運用力・サービス品質の向上を通じて、お客さまから信頼される資産運用会社を目指してまいります。

以上

